

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月24日			
平成15年度	事業コード	12210	電話	042-769-8344
担当部課名	保健所	地域保健	課	成人保健企画 班
事務事業名	食生活改善団体推進団体補助金			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	12年度
施策名	第1施策	自ら行う健康づくり	

## 2 実施根拠及び関連法令等

健医地発第53号平成10年6月22日付け「国民の健康づくり地方推進事業の推進について」
---------------------------------------------

## 3 事務の区分

自治事務	4 経費の区分	5 事務事業の分類	6 受益者負担
	その他の経費	市単独事業	あり

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
市内各地域において食生活改善運動を展開し、住民の保健衛生の向上及び促進に寄与する事業を実施している食生活改善推進団体「わかな会」の活動に対し育成支援を図る。	一般市民
	対象数 約61万人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
<p>団体活動状況 &lt;実績&gt; 合計4,373回 28,908人(内訳) 講習会1,319回 19,006人 対話訪問3,054回 9,902人</p> <p>&lt;内容&gt; 1 推進事業 40回 生活習慣病予防の食生活普及講習会、よい食生活をすすめるためのグループ講習会(牛乳・乳製品)、子どもの心とからだの健康づくり親子の楽しい料理教室、健康づくりわが家の食卓コンクール、ごはん普及啓発講習会、減らしNaさい(減塩・減脂肪)の講習会他</p> <p>2 食生活改善のため広報活動及び関係機関行事への参加協力(公民館まつり、ふるさとまつり、市民まつり、郷土の食文化の伝承、健康づくりづくりのつどい等各種事業)</p> <p>3 市委託事業 栄養表示普及講習会、障害者の食事づくり講習会、高齢者介護世帯の家族を対象とした料理講習会、食生活改善推進員交流事業、食生活改善推進員現任研修会</p>	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	相模原市保健医療計画
計画年次	14年度～22年度
	基本目標1の(1)の地域に根ざした健康づくりの「各種団体の育成」に位置付けられている。

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

	指標名	指標式	指標設定の意図	15,16年度は目標値				
成果指標	事業参加率	活動参加者数(人)/総人口×100	地域における栄養改善活動を普及する目的があることから、市民の事業利用状況がわかる	12	13	14	15	16
				6	5	5	5	5
活動指標								

## 9 事業費等の年度別状況

		〔金額単位：千円〕				
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	90	90	90	90	0
	人員・時間数					
	人件費					
	その他経費					
	合計	90	90	90	90	0
特定財源						
対象数		610,000	610,000	610,000	610,000	0
対象の単位あたり経費		0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	ライフスタイルが多様化し食生活が変化してきている中で、生活習慣病の増加、子どもの肥満、若い女性のやせ、高齢者の低栄養など課題があり、地域において栄養改善の啓発活動をしているが、課題が多く達成途中である。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 生活習慣病の増加、子どもの肥満、若い女性のやせ、高齢者の低栄養など課題が多くあり、健康づくりの柱である栄養・食生活の改善を地域で啓発していく必要がある。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	年間住民の約5%に対し、健康づくりの基本である栄養改善の啓発をしており、健康づくり推進に大きく有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	会員398名であるが、住民の身近な地域において、年間約4,400回、約29,000人(14年度分)に栄養改善思想の啓発をしており、効率的である。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	地域に会員が広がっており、公民館を中心に地域での栄養改善活動事業を実施している。事業の参加者についても地域情報紙等で広く地域住民を対象に募集しており公平である。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 会員の増加により、地域での活動がより活発になり、広く栄養改善思想の啓発を図ることができる。	手段	自主的活動の促進を図る。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
		他の市町村においても、活動に対して支援している。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 昨今ライフスタイルが多様化してきており、食生活に関する課題も多く、地域においても栄養改善を推進していく必要がある。本団体は、住民の身近なところで、栄養改善思想の啓発を推進するため活動しているボランティア団体であり、今後は、市と本団体との役割分担のあり方を見直し、本団体への委託により事業を進めることを検討する。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input checked="" type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--